

木更津トライアスロン大会ローカルルール

《本大会は公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則、運営規則を適用しています。以下を参照してください。》

http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2017_Draft_20170901.pdf

■ 競技全般

①貴重品の管理

会場に、荷物預かり所を設置しています。レースナンバーシールを貼った手荷物用ビニール袋の中に荷物を入れてお預けください。貴重品の保管・管理はご自身でお願いします。

②悪天候時の措置

雨天でも開催します。ただし、天候や競技環境が悪化した場合、距離短縮や競技内容を変更することもあります。開催に危険を伴うなど最悪の場合、競技を当日の判断で中止することもあります。なお競技中止の場合でも返金は一切いたしません。

③有事、災害時の措置

開催地の災害時は、競技を中止いたします。また、開催地以外でも周辺交通機関等の状況等、陸上自衛隊木更津駐屯地の救助活動、緊急出動により大会を中止する場合があります。なお競技中止の場合でも返金は一切いたしません。

④計測バンドの装着

競技中は入水前に配布する計測バンドを必ず足首に装着してください。スイム、バイク、ランの競技中は外さないでください。計測バンドを装着せずに出走した場合、途中で外した場合は失格とします。

⑤レースナンバー

レースナンバーシールは両腕の肩から肘にかけてナンバーがわかるように貼ってください。あらかじめ選手ご自身で貼った状態で大会会場にお越しください。失敗した場合は黒マジック等で記入してください。レースナンバーは、ゼッケンベルトもしくはゴムひも使用とします（安全ピンは使用禁止）。1枚配布しますので、バイク時は背面へ、ラン時は前面へ回してレースナンバーが見えるようにしてください。ヘルメットステッカーは前面に、バイク用ステッカーはサドル下部のフレーム両面に挟むように貼ってください。競技中にはがれないように注意してください。

⑥レースウェア

フロントジッパーなしのウェアを推奨します。フロントジッパー付きの

ウェア（バイクジャージなど）も着用可能ですが、競技中に前面のジッパーを開ける事は禁止とします。

⑦途中棄権の申告

途中棄権する場合、お近くのレースオフィシャル（審判員）に申告してください。計測バンドはレースオフィシャルに手渡して返却してください。

⑧周回チェック

個別の周回数を競技中にスタッフが数えることはできません。事前に自分の出場種目の周回数を確認の上、サイクルコンピュータやその他の方法で周回を確認できるようにして競技に参加してください。周回不足は失格となります。

⑨制限時間

オリンピックディスタンスとリレー部門はスイムスタート 1 時間後、ランフィニッシュはスタートから 4 時間 30 分後です。スプリントディスタンスはスイムスタート 40 分後、ランフィニッシュはスタートから 2 時間 15 分後です。制限時間を過ぎた場合、競技を中断頂く場合があります。計測はオリンピックディスタンスの制限時間までいたしますが、スプリントディスタンスの制限時間を過ぎた場合、リザルト上、順位をつけず TO（タイムオーバー）と表示いたします。リレーのスイムでの制限時間をオーバーした場合はバイク競技者のスキップスタートを認めます。レースオフィシャルの指示に従ってバイクスタートしてください。

⑩着替え場所

会場内に更衣室を男女別に用意しますので手荷物にご注意のうえ、ご自由にお使いください。

⑪救護テント等

会場内に救護テント（フィニッシュ周辺、スイム・ランエイドステーション内簡易救護）を用意します。医師や看護師が待機し、応急措置を行います。また、競技コース内に車両を配置し、緊急の場合には競技コース内に車両が進入します。審判員スタッフの指示に従い緊急車両の通行にご協力ください。

⑫体調管理

競技に参加するのに健康上不安がある方は、あらかじめ主治医や医療機関にご相談いただき指示に従ってください。当日の体調について不安がある方は、救護本部テントの医師にご相談ください。医療機関での処置が必要な場合は医師の指示に従ってください。大会参加者、

ボランティアは大会保険に加入していますが、治療費を全額補償するものではありません。また、持病等のある方は、内容によって補償されない場合もございます。体調管理には十分注意してご参加ください。競技スポーツに参加できると判断できない身体状態の方には参加をお断りする場合があります。申し込み後に発覚した場合でも一切返金には応じません。また、事実を隠して参加し、体調が悪化しても主催者は一切責任を負いません。トライアスロンは大きく変化する環境下でのスポーツであり、またコンタクトスポーツの側面もあることを認識してください。

⑬リザルト

リザルトは速報版を大会会場に掲示します。また、公式記録は大会終了後数日以内に本ホームページに掲載します。記録証はホームページからダウンロードとなります。

⑭競技内容変更時の対応

気象条件等により実施不可能な種目がある場合、デュアスロン等に競技種目の変更または中止をいたします。あらかじめ予想される場合は大会 HP での告知、直前または当日の大会中止、その他競技変更の際の詳細は大会当日にアナウンス、掲示等でご案内いたします。

⑮大会中止時における参加料金の取り扱い

競技短縮、大会中止時における参加料金の返金は一切行っておりません。あらかじめご了承ください。

⑯競技説明会の参加義務付けについて

本大会は安全管理のため競技説明会への参加が義務付けとなります。また、自衛隊基地内という会場の特性上あらかじめ知っておいていただきたい事項もございます。受付、競技説明会へのご出席を必ずお願いいたします。

⑰会場内施設の使用について

自衛隊基地内の施設に立ち入ることはできません。トイレは本部及びスイムエリア、ランコース、バイクコースの仮設トイレをご利用ください。

⑱基地内の利用における注意について

自衛隊基地内、滑走路という特性上、選手、応援者とも指定された場所以外の立ち入りやゴミとなるものの持ち込みを禁止いたします。飲食につきましては指定された場所をお願いいたします。ゴミは指定の場所に必ず入れてください。バイクシューズをペダルに固定するための輪ゴムも滑走路内の異物となり航空機の運航に支障をきたします。バイクシューズをペダルに輪ゴムで固定している場合はこれを審判員が取り外します。

また、滑走路付近エリアでの傘の使用は禁止されております。悪天候の場合はカッパなどの雨具をご用意ください。ご理解、ご協力をお願いいたします。

⑱時間の厳守

大会プログラムに定められた時間を守ってください。ご自身のウェーブのスイムスタート時間に遅れた場合は出場することはできません。

■スイム競技

①コース

自衛隊基地内よりスロープを利用して海に入り基本的に水面からのフローティングスタートとなります。海底やスロープには貝殻等がありますので、設定されたスタートエリア、エグジットエリアからコースアウトしないようご注意ください。緊急時にはスタッフのコース誘導に従ってください。

②ウェットスーツ

オリンピックディスタンス、スプリントディスタンスともに着用義務とします。異常高温等の場合は実行委員会にて当日判断いたします。

当日ウェットスーツを持参しない場合は出場できません。レンタルなどをご自身で手配してください。

③スイムスキップ

事前申告によるスイムスキップを認めます。所定の申告手続きにより申告してください。また、オリンピックディスタンスは1周回目終了後のスイムスキップを認めます。その場合、上陸後に医師による健康チェックと許可を必須とします。ただしボードやジェットスキー、ボートで、コース途中から上がってきた場合は対象外といたします。

④レスチューブ

レスチューブを装着してのスイムを認めます。

【スイム中に膨張させた場合】

《オリンピックディスタンス》1周回目で膨張させ、そのままスイム続行した場合はスイムスキップと同様の扱いとし、バイクのスタートはスキップと同時刻とする。リザルト上 RES 記載とし、競技続行を認めるが順位はつかない。2周回目で膨張させた場合はそのまま競技続行を認めるが、リザルト上 RES 記載とし、順位はつかない。

《スプリントディスタンス》スイム途中で膨張させた場合は競技続行を認めるが、リザルト上 RES 記載とし、順位はつかない。＜共通事項＞膨張させたレスチューブはトランジションエリアには持ち込まず、購入・レンタル品問わずスイムエイドのレスチューブブースに預けていくこととする。競技終了後、個人所有のレスチューブは本部エリア内レスチューブ

ブースで受け取る。レンタル品はそのまま返却する。膨張させなかったレンタル品は競技終了後、本部エリア内レスチューブブースに返却する。

■ バイク競技

① コース

陸上自衛隊木更津駐屯地内道路、および滑走路をオリンピックディスタンスは 6 周、スプリントディスタンスは 3 周します。

② バイクの種類

オリンピックディスタンスはロードレーサータイプの自転車を使用してください。ハンドルはドロップハンドルとこれに準ずる形状としてください（TT、ブルホーン、エアロバーは転倒時に危険のないもの）。ピストバイク（固定ハブ）の自転車は認めません。スプリントディスタンスはマウンテンバイク、クロスバイク、ミニベロでの出場を認めます（Tバーハンドル含む）。迷う場合は事務局にご相談ください。上記いずれの場合も転倒した時にけがの原因となるスタンド、かごなどはあらかじめ取り外してください（当日のメカニックでは時間がかかって対応できない場合がございます。あらかじめお近くの自転車販売店等で取り外してもらってください）。

③ ヘルメット

会場内およびコース上で自転車に乗車するときは着用を義務付けます。駐車場からのご移動の際にもご自身の安全のため着用していただくことをお勧めいたします。移動中の落車による事故が他の大会でも発生しております。また転倒した時に、他の選手のけがの原因とならない形状のものを使用してください。自転車競技用の認定ヘルメットを使用してください。貸出はしません。トランジション入り口でバイクチェックイン時にヘルメットのチェックを実施します。合格しないヘルメットは使用できません。

※着用するバイク競技用硬質ヘルメットは、次に掲げる基準に適合したものを奨励する。

（1） Snell Memorial Foundation スネル記念財団 （2） American National Standard Institute (ANSI Z90.4) 米国規格協会 （3） U.S. Consumer Product Safety Commission (16 CFR Part 1203) 米国消費者製品安全委員会 （4） CEN European Standard (EN1078) CEN 欧州標準 （5） The National Swedish Board of Consumer Policy スウェーデン消費者機構 （6） 財団法人日本自転車競技連盟 (JCF)

④ サイクルコンピュータ

装着を推奨します。運営側では、レース中に個人の周回数はわかりません。レース中もご自身で距離や周回数の確認をお願いいたします。終了後に周回不足の場合は失格となります。スマートフォンのサイクルコンピュータとしての利用については、脱落しないようにしつ

かり固定して他の用途（写真撮影、動画撮影、SNS、通信等）に利用しないでください。

⑤給水所

バイクコース上にはエイドステーションは設けません。水分補給は各自で十分な準備をお願いします。開催時期にはかなりの猛暑が予想されています。

⑥ドラフティング・ブロッキング

禁止とします。ドラフティングとは、他の選手を風よけにして走行することです。ブロッキングとは他の競技者の進路をふさぐ行為のことです。以下の競技規則を参考にしてください。

※ドラフティング・ブロッキングについて JTU 競技規則より抜粋

「ドラフティング」とは、他の選手又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する行為をいう。

(1) ミドルおよびロングディスタンスのドラフトゾーン：バイクのドラフトゾーンは、前輪の先端から測定して縦 12m である。選手は、他の選手のドラフトゾーンに入ってもよいが、そのゾーン内を進行しているように見えなければならない。他の選手のゾーンを追い抜くために、最大 25 秒を許可する。

(2) スタンダードあるいはこれより短い距離の大会：バイクのドラフトゾーンは、前輪の先端から測定して縦 10m である。選手は、他の選手のドラフトゾーンに入ってもよいが、そのゾーン内を進行しているように見えなければならない。他の選手のゾーンを追い抜くために、最大 20 秒を許可する。

ドラフティング禁止レースにおいて選手は、他の選手のドラフトゾーンに進入することを禁止する。ただし次の各号に掲げるときに限りドラフトゾーンへ進入することができる。

- (1) 第95条に規定する方法で先行する選手を追い越すとき。
- (2) 危険回避のためにやむをえないとき。
- (3) トランジションエリアの出入り口及び合流地点の付近を通過するとき。
- (4) 減速指示又は追い越し禁止の指示がある鋭角ターン及び折り返し地点の付近を通過するとき。
- (5) 道路幅の減少、工事区間、迂回路、その他安全上の理由により、大会スタッフから指定された区間を通過するとき。
- (6) エイドステーションやトランジションエリア前後の 100m

(ブロッキング) 第94条 ドラフティング禁止レースにおいては、第29条第2項の規定によるもののほか、次に掲げる行為をブロッキングとみなし禁止する。

- (1) 選手は、コースの端を走行し続け、ブロッキング状態をつくってはいけない。プロ

ッキングとは、後続の選手が、前を行く選手の走行位置が不適切で、追い抜けない状態である。ブロックしていることが審判に確認された選手は次のバイクペナルティボックスでストップ・アンド・ゴーのペナルティを受ける。

(2) 先行する選手を追い越したとき、追い越した選手のバイクの前輪の最前部から追い越された選手のバイクの前輪の最前部までの間隔をミドルおよびロングディスタンス 12 mスタンダード あるいはこれより短い距離の大会 10m以上開けないで追い越した選手がキープレフト走行に入ること。

(3) 他の選手の右側を、他の選手と同一の速度を保ったまま走行を続けること。この場合において、他の選手のドラフトゾーンに進入しているかどうかを問わない。

⑦防寒対策など

天候の変化に柔軟に対応できるようにレースウェア等の準備をされることを推奨します。

⑧その他

コース上にゴミとなる容器での飲食物の持ち込みを禁止します。飲料、ジェル類は専用のボトル等に入れ替えてください。ペットボトルは発見次第トランジション出口で回収します。トランジション内で補給の場合、ゴミにならないようご注意ください。コース上のボトル等の投げ捨ては故意、過失を問わず禁止いたします。コース上での投げ捨ては発見次第ペナルティの対象といたします。バイクシューズをペダルに固定するための輪ゴムも滑走路内の異物となり航空機の運航に支障をきたします。バイクシューズをペダルに輪ゴムで固定している場合はこれを審判員が取り外します。滑走路という特性上ゴミや異物の落下は航空機の発着において大変危険です。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

■ラン競技

①コース

陸上自衛隊木更津駐屯地道路をオリンピックディスタンスは 4 周、スプリントディスタンスは 2 周します。

②給水所 (エイドステーション)

コース 1 周回上 (2.5km) に 2 カ所用意します (往復で使用)。エイドステーション以外でのゴミ捨てを禁止します。設置されたゴミ回収ボックスに確実に入れてください。コース上での投げ捨ては発見次第ペナルティの対象といたします。滑走路という特性上飛行機の発着においてゴミの落下は大変危険です。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

③同伴フィニッシュ

他の競技者の妨げにならない範囲で認めます。ゴールゲート手前の待機ゾーンで待機してください。他の競技者の妨げになると判断した場合、不可抗力であってもペナルティを課す場合があります。同伴フィニッシュは家族、チームメイトを認めます（ペットはご遠慮ください）。フィニッシュした選手が同伴する場合は、レースナンバーを外してください。

④ゴールエリア

フィニッシュ時には他の選手やスタッフ等と衝突しないよう充分減速してください。選手、スタッフ以外の応援者はゴールエリアの外でお待ちください。写真撮影等はエリアの外からとなります。また、ゴールエリア付近は大変混雑しますので、誘導に従って速やかにエリア外にご移動をお願いします。

■トランジション

①競技用具の設置

競技カテゴリーごとにトランジションエリアを設けます。バイク、ラン競技に必要なものを自分のエリア内にあらかじめ設置してください。用具が散乱しないようまとめてください。

②競技用具の回収

競技の安全のため、競技終了後のトランジションエリア開放の時間まで回収はお待ちください。回収の際にはリストバンドをご提示ください。退出の際は用具とナンバーを照合します。

③トランジション内での補給

バイクコース上にはボトル以外の補給物の持ち込みができません。トランジション内でのコースに出る前の補給をされる場合はゴミが散乱しないようにしてください。バイクコースへ出る際にボトル以外の補給物が発見された場合はこれを没収いたします。

■写真・ビデオ撮影について

①選手の家族、応援者に限り撮影を認めます。最近不健全な目的で写真やビデオ盗撮（透撮）が問題となっています。会場で撮影をしている方に大会関係者が声をかける場合がありますのでご協力をお願いします。また、不審な撮影者を発見した場合、大会本部が近くに係員にお知らせください。取材等のメディアの方につきましては、大会本部でご登録ください。

②実行委員会が特に認めた場合を除き、各種メディア（インターネット個人ページを含む）へ被写体となったご本人の了解なく写真や動画等を掲載できません。

③自衛隊基地内という施設の特性上、競技中のコース内撮影はできません。バイクへのカメラ設置などのコース内持ち込みの発見時、現場画像確認された場合は消去をしていただくとともに、失格とさせていただきます。SNS 等への投稿が発見された場合、これを削除していただき、関係省庁への書類の提出等が求められますので、あらかじめご了承ください。